

許 可 番 号	倫-599
研 究 課 題 名	本態性血小板血症でアナグレリドが投与された症例の後方視的検討
診 療 科	血液内科
研 究 責 任 者	小池 道明
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科・准教授 関口 安宣
研究の目的と方法	日本と欧米では、本態性血小板血症の臨床像や検査データ、形質転換の頻度、薬剤の代謝が違う 1)。また、前向き臨床試験に比較して 2,3)、実臨床での臨床像は多彩である。前向き試験と実臨床像では違いがある。そのため、日本人独自でかつ実臨床での後方視的検討が必要である。本報告の目的は、アナグレリドの有効性、安全性、認容性を日本人の本態性血小板血症患者で実臨床で検討するのが目的である。
利用、又は提供する 試料・情報の項目	なし
研 究 対 象 者	順天堂大学医学部附属静岡病院 血液内科に（2015年3月1日～2018年3月31日までの間）通院または入院中の患者で、本態性血小板血症においてアナグレリドが投与された症例。
研 究 対 象 期 間	西暦 2015 年 3 月 1 日から西暦 2018 年 3 月 31 日までの間
利用する者の範囲	多施設共同研究 研究代表機関名：順天堂大学医学部附属浦安病院 代表研究責任者：関口 安宣
個人情報 の取扱い に つ い て	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 血液内科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：小池 道明